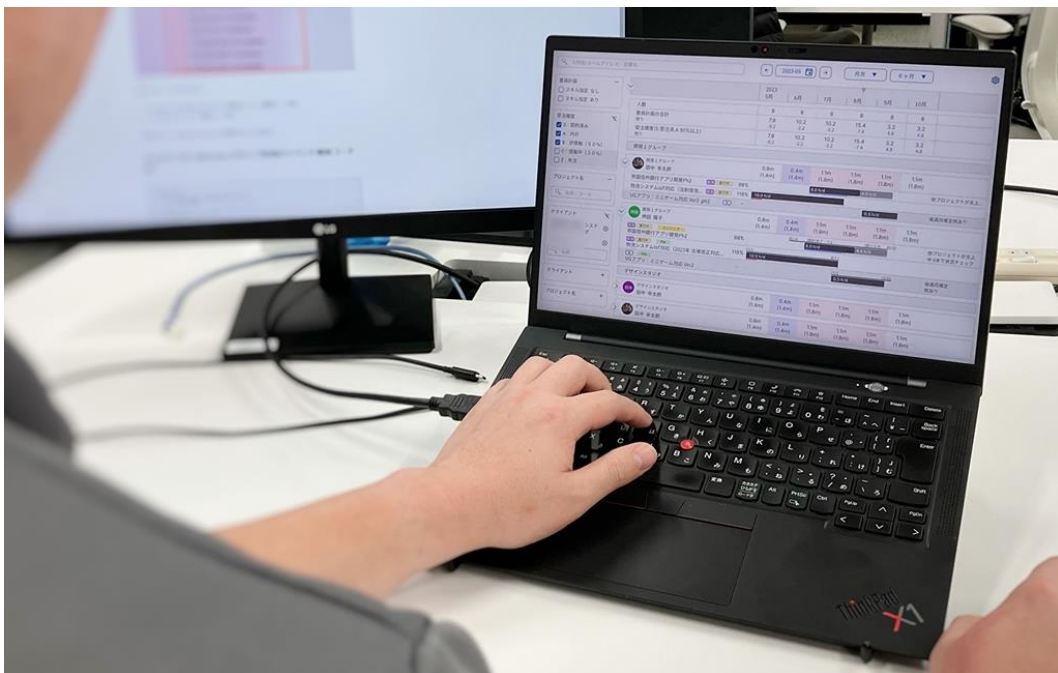


開発人材の配置を最適化する「Co-Assign」が 100社を超える利用企業の声に応じてリニューアル

スキル需要の多様化、高スキル人材不足、リモートワークによる成果型評価シフトを受け、
予実管理精度を向上する週次/日次の要員計画・稼働状況確認に対応

株式会社アイリッジ（本社：東京都港区、代表取締役社長：小田 健太郎、東京証券取引所グロース：3917、以下「アイリッジ」）は、提供する開発リソースの最適化プラットフォーム「Co-Assign（コアサイン）」をリニューアルし、予実管理精度、画面表示速度、操作性を大幅に向上させたことをお知らせします。システム開発会社様を中心に導入企業が100社を超えた中で、各社の利用状況分析や要望のヒアリングをもとに今回のリニューアルを行いました。



Co-Assign 概要 (<https://www.co-assign.com/>)

「Co-Assign」は、要員の稼働計画を「高い解像度」でチーム内に共有することができるアサイン管理の脱 Excel サービスです。プロジェクトごとの稼働予定を管理し、人軸、プロジェクト軸で切り替えて確認できます。また、受注予定案件の要員計画を、期間ごと・受注確度ごとに集計できます。本当に不足する人材・スキルが可視化され、最適な人材配置を行えることで、受注キャパシティが拡大します。進行中のプロジェクトでは稼働時間を入力でき、プロジェクトごとの予実がリアルタイムでチームに共有されます。これにより粗利率が悪化する前の対策が可能になります。

リニューアルの背景

システム開発の現場では、「プロジェクトに必要なスキルの多様化（専門化・細分化）」「高スキル人材の不足」
「リモートワークによる、成果型の人事評価シフト」という大きな潮流が起きています。

近年、開発案件はこれまでの「既存業務をシステム化する」ものから、「業務そのものを効率化する」ものへと変化してきています。これに伴い、「プログラムを書ける人」や「進行を管理できる人」ではなく、「コンサルタント」「データサイエンティスト」「AI エンジニア」「UX デザイナー」など、より専門的な知識を持つ人材が必要となっています。

このため、専門性を持つ複数の人が力を合わせるプロジェクトが増加しています。また、特に質的な面での人材不足は著しく、若手人材のスキル不足を補うために、高スキル人材が複数の案件を掛け持ちで監督する形での開発が増えていきます。結果として、一人が同時期に複数のプロジェクトにまたがる複雑なアサイン管理が増えてきています。

そしてリモートワークの普及により、人事評価が成果型にシフトしています。成果型の評価をするためには、誰がどのプロジェクトにどの程度関わってきたかを残しておく必要があります。そのため、アサイン管理に求められる機能として、「未来のアサイン予定だけがクリアになれば良い」から「過去のアサイン状況を保存する」必要が出てきています。

このような背景に対し、今回、より精緻に、より速く、よりわかりやすく管理できるようリニューアルを行いました。

リニューアルの概要

・週次/日次での人員計画・稼働状況管理に対応

これまで月単位を基本としていた要員計画・稼働状況管理を、週単位や日単位でも管理できるようになりました。これにより、より細かい単位で管理を行う企業様の予実管理精度を上げていくとともに、デザイン会社や広告会社など、短い期間のプロジェクトの多い企業様でも使いやすくなりました。

・WebAssembly による表示高速化

多くの業務システムがプロジェクト（案件）単位、あるいは人（勤怠や稼働状況）単位のいずれかのみでの表示なのに対し、「Co-Assign」はその両方をクロスして表示できることが特長となっています。そのため画面表示の際には大量のデータを読み込むこととなりますが、フロントエンドを高速化する第4の Web 言語^{※1}「WebAssembly」を活用することで従来比 3.5 倍の高速化を実現しました^{※2}。

従来サーバー側で持つものとされてきたデータをブラウザ側に持たせることで、データの取得から描画を大幅に高速化しました。サーバーとの通信が発生しないため、ローディング（読み込み）の待ち時間もなく、複数のデータを集約する画面も驚きの速さで瞬時に表示されます。

・デザインリニューアルによる操作性向上

表示内容が増えた画面を見やすくするために、デザインリニューアルを行いました。また 2024 年 1 月頃を目処に、新たにバーチャートや進捗ステータスなどのグラフィックと、マイルストーンや予算消化率などの指標追加も予定しています。プロジェクト管理者が常に意識すべき多くの情報を一つの画面で視覚的に確認できるようになり、チームミーティング時にも、さらに解像度の高い情報共有が可能になる予定です。

今後もシステム開発会社様のニーズを最優先に機能改善に取り組み、多くの企業の脱 Excel および予実管理精度向上を支援してまいります。

※1) HTML、CSS、JavaScript に続き、Web ブラウザで実行できるコードを作成できる 4 つ目の言語と位置付けられている

※2) 主ページである「人材 > プロジェクト」にて、処理開始～描画完了までの時間を、旧システムでの計測と比較

人材別の稼働状況確認画面

リソース計画 > プロジェクト > 人材

2023-05 6ヶ月

受注精度
 スキル指定 なし
 スキル指定 あり

受注精度
 S: 契約済み
 A: 内示
 B: 好感値 (50%)
 C: 提案中 (30%)
 D: 失注

プロジェクト名

受注精度により、表示するプロジェクトを絞ることができます。
 将来の予定を視覚化することで、稼働のコントロール、要員の手配、顧客との交渉を行います。

人数	5月	6月	7月	8月	9月	10月
要員計画の合計	8	8	8	8	8	8
受注精度(S 受注済,A 90%以上)	7.8	10.2	10.2	15.4	3.2	3.2
残り	-0.2	-2.2	-2.2	-7.4	4.8	4.8

適切な期間、粒度（月・週・日）で情報を表示できます

チームの人数、計画工数の合計、左記の絞り込みと連動した、計画工数を確認できます

人ごとのアサイン予定の過多により色付けされ、稼働を適正化できます

アサインの計画を、濃淡で表示します。また、プロジェクトのマイルストーンも確認できます

月次/週次/日次の表示切り替えイメージ

月次表示

	2023 5月	6月	7月	8月	9月
要員計画の合計	21.3m	20.0m	28.3m	31.3m	11.0m
受注精度(A 90%以上,C 10%以上)	21.3m	20.0m	28.3m	31.3m	11.0m

登録された稼働予定のデータを、どの粒度（月・週・日）で表示するかを切り替えられます。稼働予定データの入力はそのままだが、状況に応じて粒度を変えながら閲覧することができます。

週次表示

	2023-07 31	2023-08 7	14	21	28
要員計画の合計	0.0d	6.0d	30.0d	30.0d	24.0d
受注精度(A 90%以上,C 10%以上)	0.0d	3.0d	30.0d	30.0d	24.0d

日次表示

	2023-08															
	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
要員計画の合計	8	8	26	26	26	-	-	16	16	20	20	-	-	-	40	40
受注精度(A 90%以上,C 10%以上)	8	8	26	26	26	-	-	16	16	16	16	-	-	-	26	26

株式会社アイリッジ (<https://iridge.jp/>)

株式会社アイリッジは、「Tech Tomorrow : テクノロジーを活用して、わたしたちがつくった新しいサービスで、昨日よりも便利な生活を創る。」という理念のもと、スマートフォンアプリを活用した企業の OMO (Online Merges with Offline : オンラインとオフラインを統合したマーケティング活動) 支援を行っています。OMO 支援ではアプリの企画・開発における業界トップクラスの実績があり、手がけた OMO アプリの MAU (月間アクティブユーザー) は 8,000 万以上に達する業界のリーディングカンパニーです。さらに、リテールテック、フィンテック、MaaS、業務支援等、幅広い領域で DX を支援しています。

今年 4 月からは急激な時代の変化に対応するための次世代型アプリビジネスプラットフォーム「APPBOX」も提供開始しました。「APPBOX」ではスクラッチ開発 (ゼロからの開発)、他社開発アプリへの機能追加、パッケージアプリ提供が可能で、パッケージアプリでは従来のアプリを捨てることなく、スクラッチ開発に移行しての機能刷新も可能です。

※記載されている各社の会社名、サービス名、商品名等は、各社の登録商標または商標です。